

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

無敵スター状態の金融緩和レース(P2)

チーフカスタマーディーラー
 井口慶一

今週のドル円予想レンジ **106.50 ~ 108.50**

りそなWEEKLY COLUMN

インドネシアにSelamat Datang!(P3)

りそな銀行 総合資金部
 バネッサ シヒテ

- **インドネシア大統領選挙では規制緩和や対外開放政策を進めるジョコ氏が再選され、マーケットは好感**
- **景気、政策、人口成長率に着目した外国人の対外投資が今後も続く見込み**

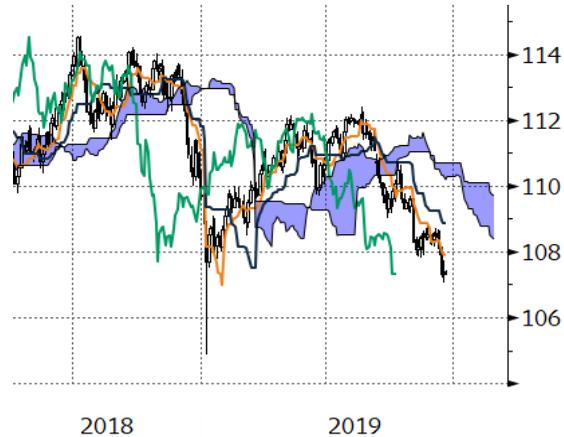
りそな外為レポート

無敵スター状態の金融緩和レース

来週のドル円予想レンジ **106.50 ~ 108.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

ECBのマリオ・ドラギ総裁はいつの間にかスーパーキノコを食べていたようだ。突然スーパーマリオに変身を遂げ、18日の講演で、経済・物価情勢が改善しなければ「追加の刺激策が必要」と金融緩和の可能性を示唆し、欧州金利は低下しユーロ安が進行。これにトランプ大王は激怒し「ユーロを下落させ米国との競争を不公平にしている！」とついに他国の金融政策にまで口出しを始めた。さらにパウエルFRB議長にもキノコを食べさせてスーパーパウエルに変身させた。先週のFOMCでは「2%の物価上昇率を持続するため、適切な行動をとる」と声明文に明記され、次回7月の利下げを強く示唆。0.5%の大幅利下げを織り込む勢いで米金利は低下し、株高・ドル安が進行中。全員が無敵のスーパースター状態で金融緩和レースがスタートする中、キノコもスターもない日銀は打つ手なし。今週末には米中首脳会談が予定されているが、双方の歩み寄りが見られたとしても、リスクオンの円安が進むのか雲行きは怪しくなっている。
(チーフカスタマーディーラー 井口慶一)

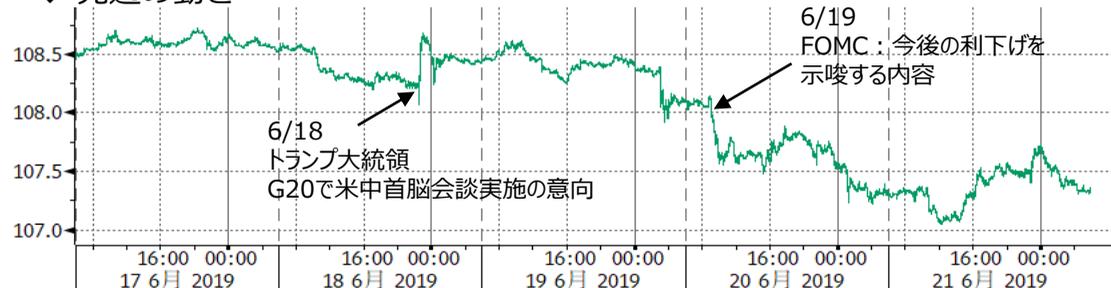
◆今週の日程

24日(月)	独	6月IFO景況感指数	28日(金)	日	5月鉱工業生産
25日(火)	米	6月消費者信頼感指数	28日(金)	他	G20サミット(大阪、~29日)
25日(火)	米	5月新築住宅販売件数	28日(金)	欧	6月CPI
26日(水)	日	通常国会会期末	28日(金)	米	5月個人所得・消費支出
26日(水)	米	5月耐久財受注	30日(日)	中	6月PMI

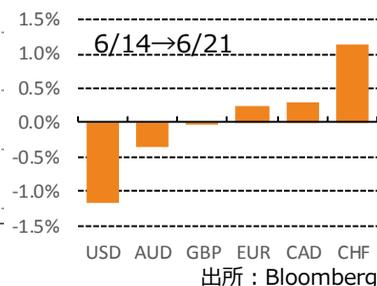
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 21日(金) 107.32円 VS 21日(金)

東京										大阪				埼玉			
尾	中	湊	井	鳥	田	関	藏	加	佐	小	鈴	武	野	小	津	石	伊
股	根		口	井	中	口	重	藤	藤	池	木	富	瀬	林	田	井	藤
↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↓

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

インドネシアにSelamat Datang!

- **インドネシア大統領選挙では規制緩和や対外開放政策を進めるジョコ氏が再選され、マーケットは好感**
- **景気、政策、人口成長率に着目した外国人の対外投資が今後も続く見込み**

りそな銀行 総合資金部 パネッサ シヒテ

インドネシアの2019年大統領選挙

参院選が間近に迫り、政治に注目が集まる時期となりましたが、筆者の母国インドネシアでは日本より一足早く、4月17日に大統領選挙が行われました。今回の選挙はインドネシア史上初めて大統領選挙と国会議員選挙が同日に行われ、開票中に500人以上の選挙スタッフが過労死する事態となったことも話題でした。

大統領選挙については、前回2014年と同じく、現職のジョコ・ウィドド氏（以下、ジョコ氏）に野党候補のプラボウォ・スビアント氏（以下、プラボウォ氏）が挑む構図でした。

現職のジョコ氏のアピールポイントは大統領4年間の実績です。主な実績は海外からのインフラ建設投資、ジャワ島外の地域開発、貧困削減等です。一方、プラボウォ氏は保守的なイスラム教徒の支持率が高く、他国に頼らず、インドネシア国民の力で経済成長を実現することを主張していました。

インドネシア国民が抱く両者のイメージは、「ジョコ氏＝“庶民の見方”」、「プラボウォ氏＝“軍人のエリート”」といった感じです。白熱した選挙戦が繰り広げられ、開票後にプラボウォ氏陣営が不正投票を訴えるなど一部で混乱も見られましたが、結果は現職のジョコ氏が再選を果たす形で終了しました。

ジョコ大統領が進める規制緩和や対外開放政策が今後も継続することを外国人投資家が好感し、マーケットは株価上昇で反応しました。その後、米中貿易摩擦の激化や、大統領選後に対立候補の支持者が暴動を起こしたこと等から株価は下落しましたが、足元では落ち着きを見せています。

マーケットの反応は？

インドネシア株価推移（ジャカルタ総合指数）



りそな WEEKLY COLUMN

Jokowi Effect とインドネシア経済

インドネシア市場には *Jokowi Effect* (ジョコウィ・エフェクト) という用語があります。ジョコ大統領の人気による経済・市場への好影響を意味しており、日本でいえば「アベノミクス」に類似した用語です（尤も最近ではアベノミクスという文字を見かけるのも少なくなりましたが）。

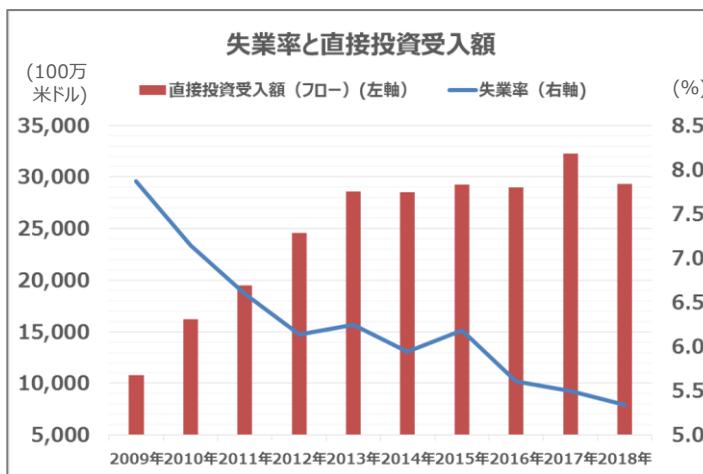
ジョコ大統領第一期（2014年～2019年）の経済成長率は目標の7%に届かず、直近発表のGDPは年率5%近辺にとどまっています。また、米中貿易摩擦の影響で2018年夏以降輸出が減速しており、貿易収支は赤字傾向となっています。しかし以下3点から、インドネシア経済の先行きを楽観的に見えています。

- ①雇用環境の改善により失業率は5%台前半まで低下
- ②政策金利が6%と高く、利下げによる金融緩和余地が残されている
- ③公的部門債務が対GDP比29%にとどまっており、今後の財政余力が大きい（S&Pは5/31にインドネシアの長期外債建て債務をBBB-からBBBに格上げ）

また、ジョコ大統領の下で以下のような規制緩和策や対外開放政策が進められていることも注目されます。

- ①投資対象業界や外国人投資家の投資枠を拡大
- ②インドネシアに投資した外国企業に、法人税を5-20年間減免
- ③外国人に土地の事業権、建設権、及び使用权を付与

景気、政策面に加え、インドネシアは人口成長率が年率1.1%と高いことも魅力的です。下図の通り、外国人による資金流入は今後も増えていくと思われます。インドネシアに *Selamat Datang* (スラマツダタン、いらっしやいませ) !



出所：JETRO
(日本貿易振興機構)